

令和3年5月6日

報道関係各位

株式会社南紀白浜エアポート

空港運用業務クラウドサービスの提供等に関する 実証実験の実施について覚書を締結

株式会社南紀白浜エアポート（以下 南紀白浜エアポート）は、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（以下 NTT データ）及び株式会社レイメイ（以下 レイメイ）と、空港運用業務の効率化を目的としたクラウドシステムの構築及び提供に関する実証実験を実施します。

現状、全国の空港において空港運用業務（工事関係者の制限区域立入申請・承認や小型機の駐機スポット予約・使用届など）はそのほとんどが紙ベースで行われております。そのため、お客様の書類記入や空港職員のデータ管理に非常に手間が生じています。

これらの課題を解決するため、南紀白浜空港においてペーパーレスに空港運用業務が実施可能な環境をクラウド上に構築し、空港職員の意見を反映した上で実用可能なシステム環境を整備します。本システムの実用化により、南紀白浜空港で構築した環境を全国の空港で共同利用可能とすることで空港同士の連携・情報共有の強化を目指します。

将来的には、小型機（プライベートジェットなど）で空港にお越しのお客様の（最終目的地までの）移動手段や宿泊・飲食施設の予約など空港運用業務の付帯サービスについても、当システムを通じて提供可能とすることで空港到着後の利便性を向上させます。

記

1. 覚書の内容について：

三者は協働して空港運用業務の効率化を目的としたクラウドシステムの構築及び提供に関する実証実験を行う

2. 実験期間：

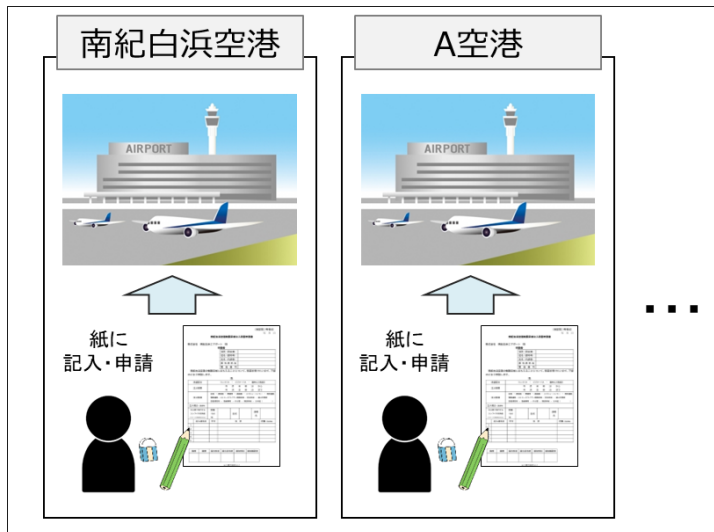
令和3年5月6日～令和4年3月末日（当事者間の合意の上で延長する場合あり）

3. 実験の役割分担：

NTT データ	・クラウド上での環境構築、プロトタイプの提供 ・空港運用業務に関する資料の電子化
レイメイ	・空港業務全般に関する専門的な助言
南紀白浜エア ポート	・空港運用業務に関する資料提供 ・環境構築に向けた助言 ・関係機関及び空港事業者との各種調整

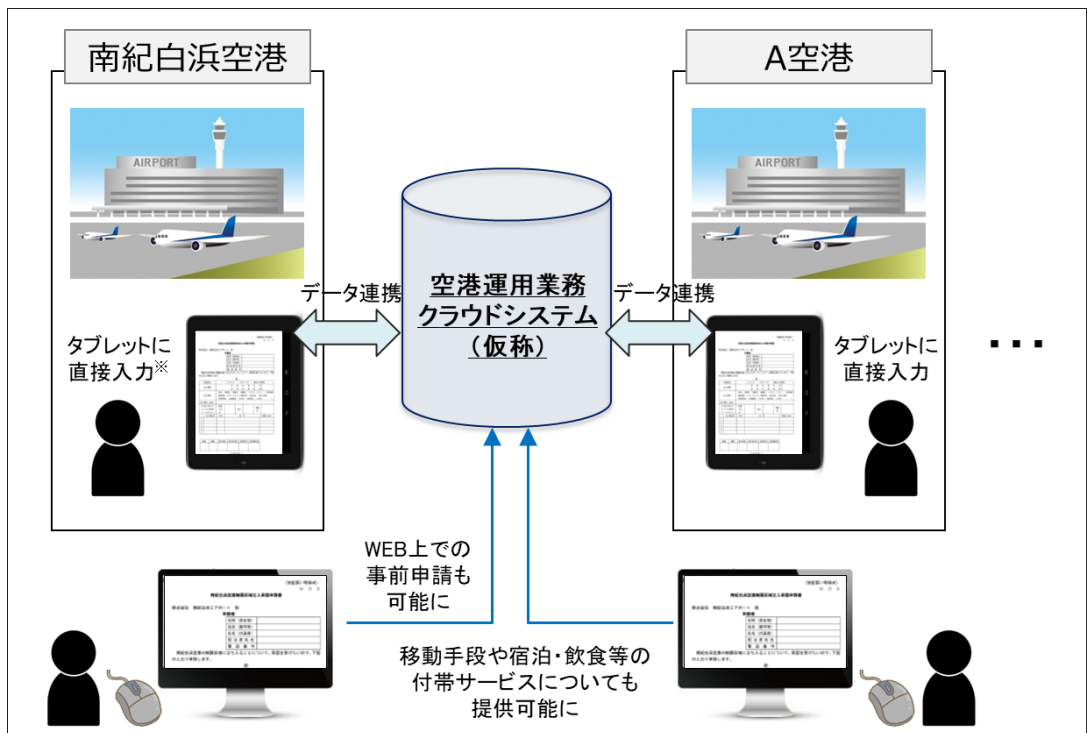
4. 構築を目指すシステムのイメージ図

- 現在：紙の申請書を空港ごとに提出



※一部の空港では申請書をHPに掲載しメールでの申請を受理している

- 将来（目指す姿）：タブレット及びWEB上にて申請を可能にする



※過去に申請歴がある場合、クラウドシステムから申請情報を呼び出すことが可能

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社南紀白浜エアポート 担当：池田・高木

電話：(0739) 43-0095

E-mail：info@nsap.co.jp